

学習状況調査結果を公表します

全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われた、平成31年度全国学力学習状況調査の結果が公表されました。北海道の小中学生は全国平均を下回っていますが、以前よりも回答数の少ない子どもの割合が減少するなど改善の傾向が見られております。ここでは、木古内町の子どものたちの状況についてお知らせいたします。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、今後の教育施策や学校での指導方法の改善を図ることを目的としています。

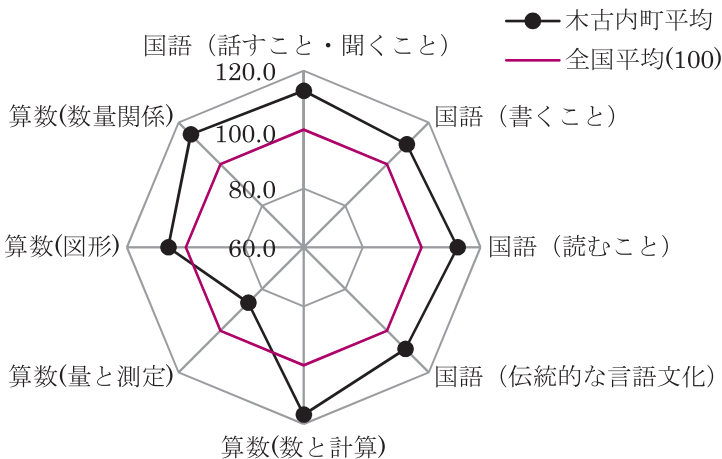
今年度は国語と算数・数学において「知識」と「活用」を一体的に問う問題に見直されるとともに、新たに中学校に英語を加え、実施されました。なお、調査の結果は学力の全てではなく、一部について示しているものであることをご理解願います。

小学校の状況

①学力の状況（全国平均との差で見た場合）

◇国語ではすべての領域で全国平均を上回っており、特に話すこと・聞くことの領域において大きく上回っています。

◇算数では、量と測定以外の領域で全国平均を上回っており、特に数と計算の領域において大きく上回っています。



②生活の状況

◇「平日の家庭学習の時間」が「30分以上する」と回答した児童の割合は約70%、「読書を30分以上する」児童の割合は約60%でした。

◇「朝食は食べていますか」の質問に「はい」などと肯定的な回答をした児童は100%でした。また、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の質問に肯定的な回答をした児童も100%でした。

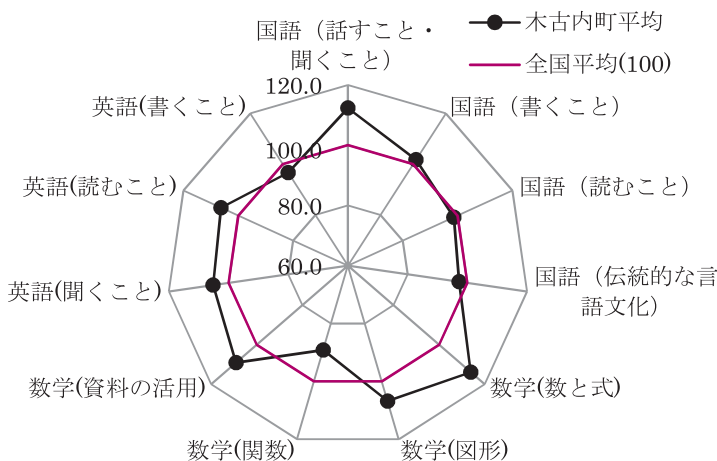
中学校の状況

①学力の状況（全国平均との差で見た場合）

◇国語では読むこと、短歌などの日本の伝統的な言語文化の領域で全国平均より若干下回っていますが、話すこと・聞くことの領域では大きく全国平均を上回っています。

◇数学では関数の領域以外の全ての領域で全国平均を上回っています。

◇英語では書くことの領域以外の全ての領域で全国平均を上回っています。



②生活の状況

◇「平日の家庭学習の時間」が「30分以上する」と回答した生徒は約90%、「読書を30分以上する」生徒の割合は約50%でした。

◇「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に肯定的な回答をした生徒は約70%となっています。この回答は全国平均を上回っています。

生活習慣については昨年と比べ、様々な項目で改善が見られます。学校と家庭の連携をこれからも進めて参ります。